



愛郷無限

2014年1月9日号 NO.442

写真提供:大仙市

土屋館  
どやだて  
通信

発行者:大曲・花火通り商店街  
文責:辻

お問い合わせ:080-1265-7035  
tuck-t@akita-tsujiya.jp

## Subject: 大曲納豆汁 八景島シーパラダイスでのPR出展

毎年、1月最初の三連休の恒例事業となりました、横浜八景島シーパラダイスでの秋田PRイベント【こでられね〜秋田 大集合】。今年も1月11〜13日の三日間にわたり開催されます。大曲納豆汁旨め研と大仙市の連合チームも、県内の他ご当地グルメの仲間達、他市行政メンバーと一緒に力を合わせて秋田県のPRを頑張ってお参ります。本年はこの事業がスタートして10周年という節目の年になり、八景島シーパラダイス側もとても気合いが入っております。事前広報などかなり手厚く取り組んでもらっている様子。また神奈川県黒岩祐治知事、横浜市金沢区長さんが10周年を祝い、そして秋田県と神奈川県の末永い友好を祈念して会場へご来訪いただくことになっています。

秋田県から横浜入りするスタッフは、ご当地グルメ13団体、横手市・男鹿市・大仙市、横手市観光協会など100名に近い人員となります。県内各地のご当地グルメの他、各地の産品・土産品、祭り展示・体験(かまくら、横手梵天、雪遊びコーナー、男鹿なまはげ、乳頭温泉の足湯、大曲から花火ショー(かまくらとコラボした演出花火))が勢揃いしたとても魅力有るラインナップ。私たち大曲チームは大曲納豆汁旨め研8名と市役所2名の連合で、さらに昨年11月の有楽町イベント「大仙市ふるさとフェア」にて大曲納豆汁をお手伝いいただいた大曲昭和40年東京会の皆さんも、再び応援に駆け付けてくれるそうです。

首都圏大曲会の皆さんも、12月末に発行された会報にこの度のイベントのチラシを全て折込み、約400名の方々へ告知・声かけにご協力いただきました。本当に有り難いことです。

このイベントの目的は、1)秋田県を、大曲を、首都圏のお客様にPRする絶好の機会であること、2)秋田県に縁とゆかりがある首都圏在住者の方々が、自分のオリジンと郷里の素晴らしさを再確認し、郷愁の気持ちを大切に育てていただける場所であること、3)ご当地グルメや観光行政に携わる各地の仲間が共に汗し、交流して絆を深めて、今後の連携を強化する場所であることです。

三日間、沢山のお客様と会話し、交流し、美味しいものを食べていただき、様々な冬まつりを見て・体験していただき、一人でも多くの秋田ファン、大曲ファンを獲得することで、今後の秋田訪問に結び付けられるよう頑張ります。